

北大阪経営塾 設立趣意書

本塾は、これまで盛和塾北大阪において父なる稲盛和夫塾長から教えて頂いた稲盛経営哲学（京セラフィロソフィ・アメーバ経営）と、母なる欠野アズ紗先生から受け継いだ学びの場（母性・愛）を、これまで培ってきた盛和塾北大阪の良き塾風と共に継承し、これからの21世紀を担う企業経営者及び各界のリーダーを養成する場としてここに新たに設立する。

本塾の趣旨に賛同して入塾する塾生は「会社はトップの器以上には大きくならない」と言われるように、社長の持つ人間性・人格・人柄・考え方によって会社の業績も社風も大きく左右されることを肝に銘じ、広く弛まざる学びと自己研鑽とによって会社の業績を伸ばし、人材を育成し、全従業員の物心両面の幸福を実現し、社会人類の進歩発展に貢献することを目的とする。

これまで培ってきた盛和塾北大阪の良き塾風とは、欠野先生から発せられた愛ある波動によって、厳しさと安らぎの程よくバランスした雰囲気の中で、繰り返し潜在意識に響き、魂が共鳴し、愛ある厳しい言葉を心身が自然体で受け止めることができる環境を言う。

本塾に入塾する新入塾生は、「我より童蒙に求むるにあらず、童蒙より我に求む」（易経）の故事にあるように、まず新入塾生が自ら求める姿勢と気概を持たねばならない。また、本塾の先輩塾生は、新入塾生に対して、これまでに学んだ思想と技術を余すところなく伝え、共に学び、一社でも多くの会社の業績向上に寄与することをもってその本意とする。

本塾の塾生は、経常利益率10%以上を目指し、自己資本比率を向上させるために、まずは自社の足元を固めて安定した企業に成長させることを第一とする。その後は稲盛塾長と欠野先生への恩返しとして、利他の心を他の塾生に広げ、多くの塾生が全従業員の物心両面の幸福を実現し、社会人類の進歩発展に貢献することのできるリーダーに成長してもらうことを目指す。そして、そのような優れたリーダーを養成する貴重な場を将来に向かって継承することをここに決意し、設立の趣意とする。